

適正施設ガイドライン

【イボイモリ *Echinotriton andersoni*】

2020年9月

公益社団法人日本動物園水族館協会

種の概況

- ・ 奄美大島、徳之島、請島、沖縄島、瀬底島、渡嘉敷島に分布する。林床が湿潤で岩穴などのシェルターがあり、餌となる土壤動物などが豊富な森林に生息する。環境の改変などによる生息地の減少、道路設置による轢殺個体の増加や側溝への落下に伴う乾燥死、密猟などが生息を脅かす脅威となっている。
- ・ 全長は雄で 15 cm、雌で 20cm に達する。背中線の上に隆条があり、左右に肋骨が突出している。また、頭部とともに胴部も扁平。体色は通常は黒に近い黒褐色で、まれに赤褐色の個体も見られる。
- ・ カテゴリー等
環境省 RDB 絶滅危惧Ⅱ類
IUCN カテゴリーEN
県指定天然記念物（鹿児島県・沖縄県）
国内希少野生動植物種

1 飼育環境

1-1 ケージ面積等

基本的には水場を設置したテラリウムで飼育する。蓋つきの小動物飼育用のプラケースが利用しやすいが、展示目的であれば、メッシュの蓋を設置した水槽のほうが鑑賞しやすい。あまり活動的ではないため、広い面積は必要ないが、シェルターなどのレイアウトや環境悪化による自家中毒等を避ける意味でも、長辺は飼育する個体の全長の 2 倍以上あることが望ましい。例えば、全長約 15cm の個体を飼育する場合は 35×20×16 cm くらいのサイズのケージを用意する。

個体同士の闘争などはほとんど見られないため、複数飼育も可能である。その場合、個体数に応じてケージ面積を広くする。なお、前述したように自家中毒を避けるため過度の過密飼育は避けるべきである。また、繁殖を目的とするのであれば、環境の作りやすさ、散水のしやすさなどから長辺 60cm 以上の水槽を使用するのが良い。余裕を持たせている例であるが、90×40×40 cm の水槽を使用した例では生体サイズの個体を 6 個体収容している。

1-2 床材等

腐葉土、赤玉土、水苔、落ち葉などを使用する。これらを混合または単独で使用し、ケージ内に乾いている場所と湿った場所を作ることが望ましい。床材に潜ることもあるため、深さは 5cm 以上あるとよい。上陸後の幼体を飼育する場合は乾燥を避けるため水苔の割合を増やした方がよいと思われる。乾燥を防ぐため、霧吹きなどで適宜散水する。植栽や樹皮、素焼きなどの人工物等でシェルターとなる場所を作る。また、複数個体を同居させる場合、シェルター内に集まるためシェルターの数も増やすことが望ましい。

1-3 水場

イボイモリは幼生時期を経た上陸後は、ほぼ陸上生活であるため、基本的には大きな水容器は必要としない。しかし、湿度の保持などのためにも床面積のうち 2 割から 3 割程度の水場を設置し、定期的に交換を行う。泳ぐことができないため、水深は個体の体高程度（成体であれば 1cm 程度）にするほうが無難である。なお、水道水をそのまま用いても特に問題はみられないが、水温や水質を安定させるという目的で汲みおきの水を使用した方が個体への負担は少ないだろう。

1-4 温度・室温

生息地の一つである沖縄島北部（名護）の気温を参考にした場合、夏季で最高 32℃ 近くまで

上がり、冬季で最低 13℃くらいまで下がるため、飼育下でも年間を通して季節変化をつける。しかし、野外では温度が上がりにくいシェルター内に籠っているため、高温にさらすのは危険である。夏季などの暑くなる時期はエアコン等を使用し室温が 27℃を超えないようにする。繁殖という面では冬季（だいたい 11 月から翌年 3 月頃）のクーリングは重要であると考えられる。しかしながらクーリングについては、一般的な爬虫類飼育施設において 13℃前後で室温を維持するのは難しいとおもわれる。低温の部屋にて加温を行うなど、ケージの置き場所を工夫する必要がでてくるだろう。

1-5 湿度

一般的にはサンショウウオ類とちがい、高湿度に保つ必要はないと思われる。毎日の定期的な散水や床材の吸水性などを利用し、保湿に努める。なお、冷房時や暖房時は乾燥が早まるため、注意が必要。

また、2月から3月頃に散水量を増やして個体の活性をあげることで、繁殖の引き金にもなると考えられる。

1-6 照明

昼間に明るくするために、蛍光灯やLEDライト等を使用する。点灯時間は、生息地の日照時間を参考にタイマー設定するなど、季節変化を持たせると良い。この際、照明器具が発する熱により飼育温度が上がりすぎないように、器具の選定や照明の設置場所などにも注意する。

参考資料

改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物 第3版 動物編 レッドデータ沖縄 沖縄県野生生物保全センター事業報告書 平成29年度 公益財団法人東京動物園協会 多摩動物公園